

パブリックコメントの結果について

1 意見募集期間

平成 19 年 4 月 6 日(金)から平成 19 年 5 月 7 日(月)

2 意見募集方法

住所、氏名または団体名、連絡先を記入し、直接持参、郵送、Eメール、ファクスで環境保全課へ提出。

〒444-8601 市役所環境保全課（福社会館5階）

Eメール：kankyohozen@city.okazaki.aichi.jp

ファクス：0564・23・6536

3 閲覧場所

市役所市政情報コーナー（本館2階）、環境保全課で閲覧できるほか、市ホームページトップページの「パブリックコメント」で閲覧。

URL：<http://www.city.okazaki.aichi.jp/index.htm>

4 意見提出数

提出方法	提出人数	意見件数
直接持ち込み	1	1
郵送	0	0
電子メール	1	1
ファクシミリ	1	3
その他	0	0
合計	3	5

5 提出された意見の概要と岡崎市の考え方(案)

No	意見	市の考え方
1	<p>流域(ブロック)ごとに将来予測や取組がまとめられており、岡崎らしさが出ている計画と思いました。</p> <p>第7章「市民、事業者、行政の協働」において、市民、事業者、行政の連携の必要性が謳われておりますが、このプランは行政主体のものに見えます。もっと市民が取り組むことも記述してはいかがでしょうか。</p>	<p>本プランを推進するには、市民、事業者、行政の協力・協働が必要です。行動計画を策定する際に、市民の役割を明確にしたいと思えます。</p>
2	<p>水環境創造プランについて大変すばらしい計画と思いました。水量について、よく森や木を守るという話がありますが、私は、木を切ってもっと収入が得られる仕組みを作るべきだと思います。今は、外国の木材を使うことが当然になっていますが、地元の木をブランド化したりして、地産地消の意識を高め、消費者がもっと国産材を使用すればいいと思います。</p> <p>人工林は、木を切ることで、山が活性化し循環します。木を使用しないことが、自然を守ることはありません。地元の木を使う、消費される方法を入れていただきたいです。</p>	<p>水源涵養機能の向上には、林業の活性化も重要です。ご指摘のとおり、それには、木材がより消費される仕組みを確立することが大切ですので、行動計画で検討したいと思います。</p>
3	<p>私たちが子どもの頃あった水との自然な形でのふれあいが無くなってしまった今、水環境創造マスタープランが、良い形で実現することを願っています。私は水質ボランティアをする中で、いろいろ考え、思いつきました。</p> <p>「水を土に帰そう！」</p> <p>公共施設の駐車場、大規模な店舗の駐車場、歩道等のアスファルトを浸透性の舗装にして、土の中に水を帰しましょう。</p>	<p>雨水の貯留浸透や雨水の利用促進は、平常時の河川流量を増加させるだけでなく、浸水被害の低減にも繋がりますので、ご指摘のとおりと考えます。</p>

4	<p>川を排水溝にしないように、川に接する住宅や店舗に指導してもらってきれいな水を流してもらいましょう。近くの川の水質検査をすれば、きれいにする大切さがわかると思います。</p>	<p>本プランにおいて乙川流域では河川の汚濁原因の約 70%が生活系とわかりました。今後も生活排水対策を行います。</p>
5	<p>「意識の向上と親しむ機会を・・・」</p> <p>地域の身近な川についての問題を知り、学び、親しむために、河川の中にビオトープをつくり、川に生き物が住めるようにしたらどうでしょうか。はじめは、大きなものではなく、石を五つくらい置くことから始める気持ちで、スタートさせればよいと思います。</p> <p>なお、岡崎市には、生き物を愛するすばらしい先生方がたくさん見えますので、是非、そういう先生方と一緒に取り組んではいかがでしょうか。</p>	<p>河川管理に支障のない範囲で環境に配慮することは重要と思います。多自然川づくりなども参考にしながら、水辺の保全に努めたいと思います。</p>